

【初期対応】動物同士の闘争

初診までの期間は同居動物間の争いを避けるため、できるだけ同居動物同士が近づかないようにしてください。具体的な方法として以下のことを、かかりつけ動物病院と相談しながら実施してください。このパンフレットの内容で対応できない場合は、かかりつけ動物病院を通して個別に当院までご相談ください。

犬の対策

■ 隔離する

動物の一方あるいは両方を、大きなケージやサークル、自宅の一室で生活させ、互いに接触させないようにすることをご検討ください。

一方を動物病院や攻撃的な犬の扱いに馴れたトレーナーに一時的に預けることも選択肢です。

■ リードをつけておく

犬にリードをつけておくと、争いが起きたときにリードを引いて引き離すことができます。

■ 攻撃が起きたとき・起きそうになったときの対策

争いに割って入ったり、手で動物を押さえたりすると、人が攻撃される危険があります。争いを止める場合はトリーツを撒く、大きな音を出すなどして注意をそらすか、あるいは離れた場所から水をかけたり、クッションを投げたりして間接的に妨害してください。

猫の対策

■ 隔離する

動物の一方あるいは両方を、大きなケージや自宅の一室で生活させ、互いに接触させないようにすることをご検討ください。ケージは2段になっているものが望ましいです。生活場所には水飲み、トイレの他、隠れ場所と爪研ぎがあることが望ましいです。

■ 攻撃が起きたとき・起きそうになったときの対策

争いに割って入ったり、手で動物を押さえたりすると、人が攻撃される危険があります。争いを止める場合はトリーツを撒く、大きな音を出すなどして注意をそらすか、離れた場所から水をかけたり、クッションを投げたりして間接的に妨害してください。

日本大学動物病院 (ANMEC) 行動診療科

Tel. 0466-84-3900